

Certificate of Appreciation

April 2020 - March 2021

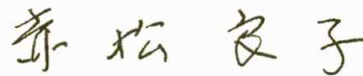
Presented to

伊加賀小学校

*Your wisdom and your compassion
have helped make the lives of children
happier, healthier and hopeful.*



Henrietta H. Fore
EXECUTIVE DIRECTOR, UNICEF



Ryoko Akamatsu
PRESIDENT,
JAPAN COMMITTEE FOR UNICEF



unicef 

伊加賀小学校のみなさまへ

こんにちは。日本ユニセフ協会大使の長谷部誠です。

ぼくがサッカー選手として暮らしているドイツでは、今年7月、すさまじい豪雨によって過去に例がないほどの洪水被害が起きました。これは気候変動の結果だと言われており、ドイツでも気候変動を止めなければ、という議論が盛んになっています。

ぼくは今まで、サッカーやユニセフの活動を通して、世界のたくさん子どもたちと出会いました。水道や井戸が不十分で、きれいな水を手に入れるのも難しい子どもたち。紛争で故郷を追われ、言葉の通じない土地で暮らしている子どもたち。遊んだりスポーツをしたりする代わりに、働いて家族を支えないといけない子どもたち。たくさんの厳しい環境に暮らす子どもたちがいました。実は、気候変動によってもっとも大きな被害を受けるのも、こうした厳しい状況下にある子どもたちだといいます。

みなさんの中には、学校でSDGs (持続可能な開発目標) について学んでいる方も多くと思います。SDGsは、人類が、この地球上で持続可能な社会を築いて暮らし続けるために、乗り越えなければならない課題を示しています。その13番目の目標に掲げられているのが「気候変動をなくそう」です。

ユニセフは、世界の22億人の子どものうち約10億人の子どもたちが、サイクロンや洪水、熱波などのリスクが非常に高い国で暮らしているという報告書を発表しました。水や衛生設備、保健・医療、教育などの必要不可欠なサービスが不十分な場所では、子どもたちはより深刻な影響を受けてしまいます。

ぼくたちは、これ以上気候変動がひどくならないよう、努力していかなければなりません。同時に、厳しい環境下にある子どもたちの暮らしをサポートしなければなりません。自分たちに何ができるのかを考え、そして、ぼくと一緒に、世界の仲間たちを応援していきましょう!

2021年11月

日本ユニセフ協会 大使
プロサッカー選手

長谷部誠

